

永井直人教授が Applied Spectroscopy William F. Meggers Award-2025 を受賞しました

永井直人教授（自然科学研究科附属教育研究高度化センター）が The Society for Applied Spectroscopy (米国) より Applied Spectroscopy William F. Meggers Award を授与されました。

この賞は、前暦年 Applied Spectroscopy 誌に掲載された優れた論文の著書 1 名（1 グループ）に出版暦年の The Federation of Analytical Chemistry and Spectroscopy Societies (FACSS) 主催の Scix 会議での Applied Spectroscopy の授賞式で授与されます。この賞のノミネートは、Meggers Award Committee によってのみ行われ、1960 年より毎年 1 名に授与されています。永井教授の受賞は 2017 年に引き続き 2 度目となります。これまで日本人は 4 名受賞していますが、2 度の受賞ははじめてとなります。

受賞論文は、ポリオキシメチレンが有機物でありながらポラリトンモードを有することを見出し、これまで不明であった赤外スペクトルにおけるピークやショルダーの帰属を明確にした論文です。今後、赤外分光による極性ポリマーの構造解析が発展することが期待されます。

著者： Naoto Nagai

論文タイトル：Azimuth Angle Dependence of Polarized Infrared Spectra of Injection-Molded Polyoxymethylene

掲載誌： Applied Spectroscopy. 2024, 78 (2), 197-208.



右は The Society for Applied Spectroscopy の Steven Ray 会長



受賞講演



受賞者主催のシンポジウムで招待講演者とともに

左より、京都大学・長谷川健教授、Kangwon National University・Young Mee JUNG 教授、University of Delaware・野田勇夫教授、Université de Montréal・Christian Pellerin 教授、近畿大学・森澤勇介准教授

受賞インタビュー記事

<https://www.spectroscopyonline.com/view/outstanding-research-an-interview-with-professor-naoto-nagai-recipient-of-the-2025-applied-spectroscopy-william-f-meggers-award>